

平成30年度 自然観察会 実施報告

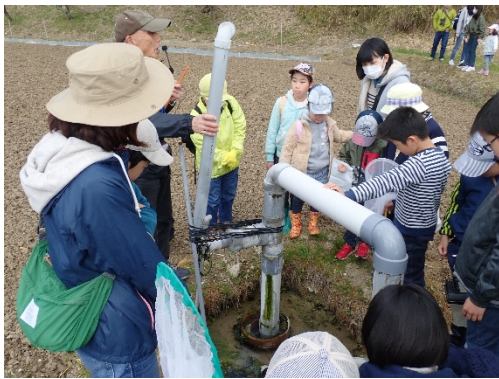
四日市自然保護推進委員会

回数	第 10 回	参加者数	33名	
テーマ	早春の田んぼや林縁			
実施日	平成31年3月31日	天候	晴れ	
場所	川島 乱飛地区			
コース	開会時刻（10：00） 竹炭工房駐車場 → シデコブシ自生地 → ビオトープ池・東屋 解散時刻（11：45）			
<p>指導内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シデコブシの開花に合わせて観察会を行うことができ、参加者に花を見ていただきことができました。 ・田んぼの中の自噴井がどのようにできるのかを説明しました。 ・シデコブシの近くにあるササが危険である。 ・気温は低めでしたが、日当たりのよいところには、たくさんのチョウが飛ぶところを見られました。 				
<p>参加者の声など（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シデコブシの近くにあるササが危険である。 ・春を感じることができた。 ・とても詳しく教えてくれて、初めて知ることばかりでした。自然に興味を持ってました。 ・シデコブシが見られてよかったです。貴重な花なので、これからも守っていきたいと思いました。 ・植物の名前など、自分でも調べてみたいと思いました。 ・いつも知らない虫の名前など教えていただき、ありがとうございます。 ・いろいろな専門の先生がいるのがうれしい。 				

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）	
観察物の花期、出現期などの状況	
植物	<ul style="list-style-type: none"> ・春の七草や、天然記念物であるシデコブシを中心に説明した。 <p>セリ、ハハコグサ、ナズナ、オランダミミナグサ、タネツケバナ、スズメノヤリ、スズメノテッポウ、コメツブツメクサ、コブシ、シデコブシ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、キセルアザミ、ショウジョウバカマ</p>

昆虫 など	キチョウ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ナナホシテントウ、ベニシジミ、ゴミムシのなかま、ビロードツリアブ、ヒシバッタ (幼)、ヤママユ (繭殻)、ミノガのなかま (幼)、イタドリハムシ
クモ類	・キノボリトタテグモの巣、ゴミグモのなかま、樹皮下で越冬するクモ、コモリグモ類の生態、水上を走るハシリグモについて キノボリトタテグモ (稀)、ゴミグモ、キハダカニグモ、アシブトハエトリ、シロカネグモ属のなかま、ウヅキコモリグモ、ハリゲコモリグモ、スジブトハシリグモ
地学	・自噴井の説明 (泉含)、東海層群・シデコブシが生育する地質について 自噴井、東海層群のシルト層、東海湖
野鳥	スズメ、ツバメ、ノスリ、カワラヒワ、ウグイス (さえぎり)、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ケリ、ムクドリ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、モズ、メジロ、キジ (鳴き声)、カワセミ (巣、鳴き声)、カワウ、コゲラ、エナガ、シジュウカラ、キジバト
動物	モグラ (塚)、イノシシ (食痕)、テン? (糞)、ヌマガエル、アマガエル、ニホンアカガエル (幼)、シュレーゲルアオガエル (鳴き声)、カナヘビ

自噴井の観察



キノボリトタテグモの巣



シデコブシの観察

